

# 第4回琉球Big Game Fishing Tournament 2019

in 宜野湾港マリーナ 2019.4.20(sat)-21(sun)



●取材協力・画像提供 宜野湾港マリーナ TEL:098-897-7017  
沖縄県宜野湾市真志喜 4-4-1 www.ginowanmarina.com



レバンテ      ムータベスカ      フィッシャリーズ      マーベリック



サンディア      ウルフ      ブルーパール      クイーンエンジェル



ブルーパール      フィッシャリーズ      サンディア      レバンテ



唯一、日本でトローリングが認められている県が沖縄県。それにはちゃんとした理由があり、今回の大会でもわかるのだが、漁業関係者に対して最大限の注意を払って大会が運営されているからだ。特にバヤオ周りはバヤオ漁法という漁法があり、特別なルールに基づいて釣りがされている。当然、許可なくしてはバヤオ周りで釣りをしてはいけないのだ。今回も緯度、経度まで明確に記載した資料を参加者に配布し、エリア内での釣りを禁止。後で分かった場合は永久追放というかなり厳しいルールを設けた。参加者も一様に納得しているようで、今大会での違反者は誰もいなかった。





ファーストヒット！クルー全員でカジキの動きに注目！！  
二日目のアングラーは初心者のかおるさん。チームクルーから暖かい声援を受け、人生初のアングラーを楽しんでいた！



冷静に確実にカジキを引き寄せせる長谷川キャプテン。  
激しくテールウォークをするカジキ  
経験豊富なリーダーマン丸ちゃん！  
見事なブルーマーリン！感動的な瞬間！



しっかりフッキングしているパラディフック。二本ともビルの硬いところがかつりと刺さっていた。ルアーは二本とも琉球 KZK LURES。



初めてアングラーを務める後輩を心配そうに見つめるチーム中日本マハ口の浜本キャプテン。ギャフマン井藤さんとリーダーマン丸ちゃんの息もピッタリ！さすが、レバンテといった感じで、それぞれが、自分の役割を完璧にこなしていた！

日本で開催されるビルフィッシュトーナメントのなかでも代表的なものは、静岡県下田市で開催されるジャパンインターナショナルビルフィッシュトーナメント(JIBT)、和歌山県で開催されるビルフィッシュトーナメント in 串本(JBTK)。また、この辺では三重県で開催される、鳥羽ビルフィッシュトーナメント国際大会があるのだが、実は確実に参加艇が増え、もっとも注目度が高いトーナメントがあるのをご存知だろうか！それは、沖縄県で開催されているトーナメント、「琉球ビッグゲームフィッシングトーナメント2019」。なんと優勝賞金が300万円なのだ！日本で開催されている大会では破格値の賞金。注目されない訳がない。今回編集部は愛知県から参加したチームレバンテさんに同行して大会のレポートをさせて頂くことにした。チームレバンテは第1回大会での優勝チームで、第3回では2位、という好成績を上げているチームなのだ。大会は4月20日(土)、21日(日)の二日間、沖縄県宜野湾市にある宜野湾港マリーナを大会本部とし開催された。大会には日本各地からカジキ釣りでは有名なチームが多数参加しており無線を聞いていると「ここは本当に沖縄の海？」と思ってしまうほど。大会初日の天気は曇り後雨後曇り。風が強く波もあり、トロリングをするには誰もが頭を抱える天候の中での開催となった。初日のスタートフィッシングは朝6時半。参加艇は宜野湾港マリーナの沖

合いに集結し、スタートフィッシングのコールとともに一気にアクセルを開けて各チームが狙うポイントに向けて滑走していった。チームレバンテは本来狙っているポイントを諦め波が比較的穏やかなポイントに向けて舵を切った。ポイントに入ると既に数艇の船がファイト中でクルーも一斉に気合いを入れ、トロリングが始まった。流し始めると数回アタリがあるものの、上手くフッキングしないようで、なかなかラインが出ていかなかった。しかし、粘って流し続けると、いきなりクリック音が船中に響き渡りついにヒット！船内は一気に戦闘モードに突入！長谷川キャプテンの指示とクルーの手際の良さは抜群だった。ヒットしてわずか数十分でカジキを船べりまで寄せ付けキャッチ。実は今回のレバンテには中部の若大将！中日本マハ口の浜本キャプテンとクルーも参加しておりJIBTのワンツーチームが合体しているのだ。見事なチームワークに只々、圧巻だった。推定60kgのクロカジキを釣り上げ初日は終了。マリーナに戻り検量すると、63.5kgのクロカジキ。大会初日としては、ますますの出だしとなった。2日目は天気予報通り天気は回復に向かい、前日より30分早い6時スタートフィッシング。初日は全体的に沖縄にしては小ぶりのカジキが多かった為、2日目には参加各艇に一発逆転のチャンスがあった！水面も大分穏やかになり、何かが起きそうな雰囲気だ。ムンムンと

していた。沖縄の大会は本土の大会に比べると、ほとんどと言っているほど無線が入らず大会のロールコールがない。だから、どこでだれが何を釣っているのかが、全くわからないのだ。しかし、それが、また面白い！蓋を開けてみないと最後の最後まで結果がわからないのだ。しばらく時間が流れるとムータベスカが大きなカジキをランディングしたとの情報が入った！チームレバンテもつギアをあげ、水面に集中した。レバンテが入ったポイントには鳥も多く飛んでおり、時折ナブラも上がった！長谷川キャプテンはこのポイントに狙いを定め根気強く引き続けた。数回「ジリッ、ジリッ」とクリック音は鳴るのだから続かない。しかし、粘りに粘っているといきなり、「ジー—————っ！」と、けたたましくクリック音が鳴りだした！水面にビルだけを出し首を振っている！「でかい！」誰もがそう思った。慎重にカジキを引き寄せダブルラインが見えるまでにわずか30分弱、リーダーマンの丸ちゃんがリーダーを取り一気に勝負！ギャフマンの井藤さんがギャフ打ち成功、浜本さんもカジキにとどめの一発をフィッシュバットで決め、見事な連

携で初日より遥かにでかいクロカジキのランディングに成功した！狙ったポイントで狙い通りにカジキを釣り上げるとも満足そうな長谷川キャプテンであった！ちなみにアングラーは今回初めてアングラーを務めたかおるさん。300万がかかった大会のアングラーを初心者にした長谷川キャプテンの器の大きさにも正直驚いた。あと気になるのは大きさ！優勝賞金の300万円は誰の手に！レバンテはマリーナに戻り検量開始！そこには現時点で129.5kgのカジキを釣り上げたトップのムータベスカのチームのみなさんが…。カジキが釣り上げられ、検量機の数字は…。130kgジャスト！なんと0.5kgで逆転！その後、数チームが検量をしたのだが130kgには叶わず！見事にチームレバンテが第4回大会の優勝者となり300万円の賞金を手にしたのであった！表彰式は宜野湾港マリーナの近くにあるホテルムーンオーシャンのプールサイドで盛大に開催された。大会参加者達は二日間を振り返り、来年の参加を約束しつつ大いに盛り上がり、今大会は幕を閉じた。



1位 レバンテ



2位 ムータベスカ



3位 ミリオンクイーン



特別賞 ワイワイワイクラブ



ファーストマリーン賞 ブルーパール



大会実行委員長 田畑氏より参加者の方々に  
向けて感謝の言葉が伝えられた。